

# えいらい

No.65

令和 8 年 3 月発行  
発行元／一般財団法人永頼会 松山市民病院



〒790-0067  
愛媛県松山市大手町 2 丁目 6-5  
TEL / 089-943-1151  
FAX / 089-947-0026  
発行責任者／理事長 山本祐司  
編集／松山市民病院広報委員会

## 今号のトピックス

- ◇巻頭言
- ◇臨床の現場から
- ◇「いつもの生活」を取り戻すために
- ◇リハビリテーション室長就任挨拶
- ◇医療事務部長就任挨拶
- ◇The specialist 救急認定薬剤師
- ◇ボランティア「白鷺」通信
- ◇連携医療機関の紹介
- ◇愛媛の風景旅
- ◇お知らせ



撮影：形成外科／手塚 敬（久万高原町 堂ヶ森から）

## 松山市民病院70周年を迎えて－新たな挑戦－

院長 柚木 茂



平素より、地域住民の皆さま、ならびに松山市民病院と連携・交流をいただいております医療機関・施設の皆さまには、日頃から温かいご支援とご指導を賜り、心より御礼申し上げます。

当院は、今年、開院 70 周年という大きな節目を迎えます。1956 年、松山市城西地区に 20 床の内科・外科を備えた病院として開院し、地域医療の第一歩を踏み出しました。その後、地域の皆さまに支えられながら発展を重ね、1974 年には新病棟（後の S 棟）が完成、1978 年には管理棟（永頼会館）が竣工するなど、診療・運営体制の基盤整備を進めてまいりました。さらに 1994 年には N 棟が、2015 年には新 S 棟が完成し、段階的に診療機能の充実を図ってまいりました。

時代の変化や医療を取り巻く環境に応じて増築や建て替え、病棟編成を行い、現在は 382 床体制にて、効率的で質の高い医療の提供に取り組んでおります。この 70 年にわたる歩みは、職員一人ひとりの不断の努力と、地域の皆さまからの変わらぬご支援の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

現在、当院では各診療科において新たな取り組みが着実に進んでいます。2024 年に導入した手術支援ロボット「ダビンチ」は、対象疾患を順次拡大しており、泌尿器科では前立腺がんに加え、骨盤臓器脱に対するロボット支援下仙骨脛固定術などを行い、術後のアフターケアにも力を入れています。また、呼吸器外科においてもロボット手術を開始し、患者さんの身体的負担を抑えた、質の高い手術の提供を進めています。

さらに、血管内治療や内視鏡治療などの分野においても、患者さんの生活の質の向上を目指した専門性の高い医療を継続的に充実させ、これまで培ってきた経験に新たな発想を融合させながら、より良い治療の提供に努めています。

松山市では、全国的な少子高齢化の進行を背景に、高齢者医療や救急医療を中心とした医療需要の変化が見られており、地域の実情に応じた医療体制づくりが求められています。高齢者救急医療を支える病院として、地域の医療体制との調和を大切にしながら、

医療機能の役割分担や病床の適切な運用に取り組んでいます。今後も、住民の皆さまの多様なニーズに応えられる医療の提供に努めてまいります。

また、今後予想される南海トラフ地震や局所的な豪雨災害などに備え、災害時に迅速に対応できる医療チームの整備を進め、災害医療体制の強化に取り組んでいます。あわせて、愛媛 DMAT 指定病院としての役割を担い、平時からの訓練や備えを重ねながら、地域の災害医療に貢献できる体制づくりを進めています。

地域の皆さまのご期待に応え、松山市の救急医療の発展に寄与するため、当院は、患者さん一人ひとりに真摯に向き合い、質の高い医療の提供に努めてまいりました。その歩みの積み重ねこそが、地域住民の皆さまの安心と職員の誇りにつながるものと信じております。今後も変革への挑戦を続けながら、職員一同力を結集し、良質で温かい医療の実現に誠心誠意取り組んでまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。